教育目標:元気な学校　明るい学校　たのしい学校
鳥川の合言葉:ありがとう　やさしさいっぱい　心も笑顔

鳥川小だより

福島市立鳥川小学校
学校だより第９号
令和５年８月２２日
校　長　穐山俊之

２学期がスタート

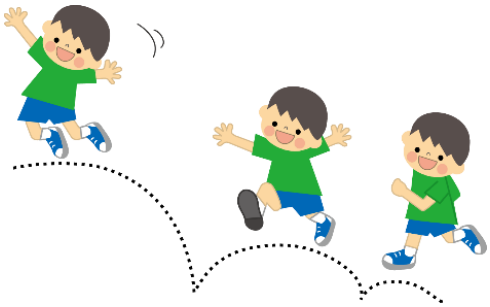
長いと思った夏休みがあっという間に終わり、いよいよ今日から２学期が始まりました。元気な顔が久しぶりにそろい、学校に明るさが戻ってきました。

高く、遠くに跳ぼうとするとき、「いち・に・さ～ん」とリズムをとってジャンプすることがあります。

学校生活をこれにたとえると、「に」に当たるのが、まさに２学期です。次の「さ～ん」で力強く踏み切るために、「に」のときに グッと力を蓄えることが必要となります。

２学期の期間は、８５日間。子どもたちには、それぞれの学年で計画されている様々な活動で、おおいに活躍し、しっかりと力を蓄えてほしいと思います。

夏休みは、子ども達は大きな事故やけがもなく、思い出に残る生活を送っていたことと思います。夏休みにしかできない体験や努力した経験が、これからの生活や学習に生かされることでしょう。



子どもたちが充実した夏休みを過ごせたことは、それぞれのご家庭で、子どもたちの生活を温かく見守っていただいたお陰です。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

２学期も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

第 42 回福島市小学校体育大会水泳競技大会

～自分史上最高記録の更新目指して！～

７月２７日（木）に福島市中央市民プールを会場として「第 42 回福島市小学校体育大会水泳競技大会」が開催され、鳥川小学校からは、自分史上最高記録の更新を目指して、５名の６年生が出場しました。

その結果、男子５０m自由形に出場した６年１組鈴木煌茉さんが、見事、第７位に入賞しました。おめでとうございます。

大会に向けての諸準備や当日の送迎はもちろんのこと、子どもたちの力いっぱいの泳ぎに大きな歓声と盛大な拍手をお送りいただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

（右写真は、壮行会での選手紹介の様子です。→）

７月後半の学校の様子をお伝えします。

１学期最後に発行した「鳥川小だより第８号」（７月２１日発行）では紙面の都合でお伝えすることができなかった、７月後半から夏休み中の学校の様子をお伝えします。

福島市水泳競技大会の壮行会

７月２０日（木）の第１学期終業式の中で、「水泳大会壮行会」を行いました。

応援団を引き受けてくれた５年生の代表児童４名が中心となって、代表選手へエールを送りました。また、出場する５名の６年生からは、水泳大会での健闘を誓う言葉と励ましへのお礼が述べられました。

着衣水泳講習会

7月31日(月)の午前10時より、日本赤十字社福島県支部より水上安全法短期講習指導員の久保芳宏様を講師としてお迎えし、着衣水泳の講習会を実施しました。

この講習会は、鳥川地区青少年健全育成推進会が毎年、夏休み前半のこの時期に開いているもので、今年は4年生以上で参加を希望した21名が参加しました。

この日は、とても暑かった(午前9時の時点で、手元の温度計が34度！)ので、多目的室を会場として実施し、衣服を着たままプールに入った場合、服が体にまとわりついて動きにくいことや浮かびやすい姿勢について教えていただき、その後、ペットボトルを活用して救助を待つ姿勢を練習しました。

また、溺れている人を見つけたら、まず大人を呼びにいくこと、そして自分たちで助けに行かないことも学びました。

最後にプールに移動し、講師の先生が実際に服を着たままプールに入って、教えていただいたことを実際に確かめました。

短時間ではありましたが、ポイントを押さえて実演していただいたおかげで、水の中での動きにくさや水に浮いた状態で助けを待つ方法について、確認することができました。

講師の日赤福島県支部の久保様、熱心なご指導、ありがとうございました。